

平成 28 年度

菰野町教育委員会

事務事業点検・評価報告書

平成29年8月

菰野町教育委員会

目 次

I	平成 28 年度点検及び評価実施方針	3
	1 趣旨 2 点検・評価の対象 3 点検・評価の方法	
II	教育委員会の運営状況	4
	1 教育委員会	4
	2 平成 28 年度菟野町教育方針	6
	3 事務局体制	6
III	事務事業の執行状況	8
	1 学校教育	8
	(1)豊かな人間性を育む教育の推進	8
	①人権教育の推進 ②道徳教育の推進	
	③いじめや暴力を許さない子どもたちの育成 ④安心できる集団づくり	
	⑤読書活動の推進 ⑥郷土教育の推進	
	(2)確かな学力と社会参画力を育む教育の推進	10
	①学力の育成 ②特別支援教育の推進 ③幼児教育の充実	
	④国際理解教育の推進 ⑤情報教育の推進 ⑥キャリア教育の推進	
	(3)健やかな体を育む教育の推進	12
	①健康教育の充実 ②体力・運動能力の向上 ③食育推進事業	
	(4)信頼される学校づくり	12
	①開かれた学校づくりの推進 ②教職員の資質向上	
	③子どもたちと向き合う時間の確保 ④安全教育の推進と学校施設・整備の充実	
	2 社会教育	18
	(5)地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実	18
	①家庭の教育力の向上 ②地域における青少年活動の推進	
	③現代社会を生き抜く青少年の健全育成 ○青少年活動支援推進事業	
	(6)活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進	19
	①生涯学習推進体制の確立	
	○生涯学習推進事業 ・よもやま歴史教室 ・かもしかライフカレッジ	
	○教育委員会主催人権教育事業 ○教育委員会主催文化事業	
	○教育委員会支援文化事業 ○国際交流事業	
	②公民館機能の充実 ○公民館教室・講座	
	③図書館サービスの充実	22
	ア)図書館事業 イ)催事室利用状況 ウ)ギャラリー利用状況	
	エ)平成 28 年度図書館貸出等の状況 オ)研修等の受け入れ実績	
	(7)健やかな心身をつくる生涯スポーツの推進	26
	①スポーツ活動の機会と教室・大会などの充実	
	②スポーツ団体の育成や指導者の養成、支援	
	③スポーツ施設の整備、充実	
	(8)豊かな文化の継承と創造	27
	①芸術文化活動への支援と交流の促進	
	②有形と無形の文化財や歴史的資産の保存と活用 ③郷土愛の育成	
IV	評価委員会の意見	28

資料編

I 平成 28 年度点検及び評価実施方針

1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、菰野町教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」）を実施する。

2 点検・評価の対象

平成 28 年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況のうち、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに実施したものとする。

3 点検・評価の方法

(1) 自己点検評価

第 5 次菰野町総合計画を踏まえた菰野町教育大綱、菰野町教育振興基本計画及び平成 28 年度菰野町教育方針に基づき、平成 28 年度の教育委員会の運営状況、事務事業の執行状況について点検・評価を行う。

(2) 学識経験者等の知見の活用

菰野町の教育に関して知見を有する次に掲げる者から、教育委員会の自己点検評価結果に対する意見を聴き、本書に記載する。

(知見者)

氏 名	職業（前職含む）
石 井 剛	元中学校長、元教育委員長
水 谷 裕 康	元小学校長

(3) 議会への報告

点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに町ホームページへの掲載等により公表する。

II 教育委員会の運営状況

1 教育委員会

教育委員会では、5名の委員により委員会を開催し、規則等の制定や生徒指導事案など重要な案件を審議した。また、研修視察を実施し、委員の資質向上に努めるとともに、学校訪問を実施し、学校運営の状況などについて現地で説明を受け、指導・助言を行った。更に平成27年度から開催されている総合教育会議において、町長と菰野町教育大綱の策定に関する協議及び教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議を行った。

(1) 委員構成

役職名	氏名	住所	任期
教育長	川瀬 敏	菰野	平成24年10月1日就任 平成31年9月30日まで
教育長職務代理者	伊達 恭子	福村	平成26年10月1日就任 平成30年9月30日まで
委員	岡島 由香里	田光	平成21年10月1日就任 平成29年9月30日まで
委員	小崎 玉千香	永井	平成24年10月1日就任 平成32年9月30日まで
委員	近藤 保則	池底	平成28年10月1日就任 平成31年9月30日まで
(委員長)	服部 典夫	諏訪	平成19年10月1日就任 平成28年9月30日まで

(2) 教育委員会の開催状況

開催数： 定例会 12回、 臨時会 2回

(3) 委員研修状況

実施日	研修先	研修場所	研修内容
8月25日	九度山町、紀の川市	慈尊院、高野山町石道、丹生官省符神社等	研修テーマ「郷土資料の展示及び活用状況について」
10月18日	津市	三重県総合文化センター中ホール	子どもたちの「命・こころ」と向き合うために 講師：藤原 勝紀 さん

(4) 学校訪問

- ・(前期) 5月27日 朝上小、竹永小 6月27日 千種小、菰野小
- ・(後期) 11月7日 八風中、菰野中、鶴川原小

(5) 総合教育会議

① (第1回) 5月27日

- ・田光シデコブシの保存・管理を含めた今後の利活用方策について
- ・障がい者スポーツの振興について
- ・学校施設整備について
- ・学校支援体制の充実について
- ・図書館と郷土資料館について

- ② (第2回) 11月 7日
- ・学校施設整備について
 - ・学校支援体制の充実について
 - ・田光シデコブシの保存・管理を含めた今後の利活用方策について
 - ・障がい者スポーツの振興について
 - ・図書館と郷土資料館について

(6) 委員会の主な審議内容

- ① 第5回教育委員会 (H28.4.27)
- 平成28年度菰野町奨学金貸付について (議案第8号)
 - 平成28年度学校評議員委嘱について (議案第9号)
- ② 第6回教育委員会 (H28.5.27)
- 平成28年度菰野町就学指導委員会委員委嘱について (議案第10号)
 - …教育委員会前期学校訪問を終えて①
- ③ 第7回教育委員会 (H28.6.27)
- 「土曜日等を活用した教育活動 (土曜授業)」に係る平成29年度以降の方針について
 - …教育委員会前期学校訪問を終えて②
- ④ 第8回教育委員会 (H28.7.20)
- 教育委員研修について
- ⑤ 第9回教育委員会 (H28.9.20)
- 平成28年菰野町議会第3回定例会提出議案について
 - ・教育委員会教育長の任命について (議案第52号)
 - ・教育委員会委員の任命について (議案第53号・第54号)
 - 平成27年度菰野町教育委員会事務事業点検・評価報告書について
- ⑥ 第10回教育委員会 (H28.10.3)
- 役員改選等について
 - 菰野町教育委員会教育長の職務を代理すべきものの指名について
 - 菰野町教育委員会の議席決定について (議案第12号)
 - 全国学力・学習状況調査の結果と公表について
- ⑦ 第11回教育委員会 (H28.11.7)
- …教育委員会後期学校訪問を終えて
- ⑧ 第12回教育委員会 (H28.12.21)
- 学校給食費の改定について (議案第13号)
 - 平成28年度末人事における基本方針について
 - 平成29年度の県費負担教職員の定数に関する意見書について
- ⑨ 第3回臨時教育委員会 (H28.10.18)
- 町任用職員の事案について
- ⑩ 第4回臨時教育委員会 (H28.10.25)
- 第2回総合教育会議における協議事項について
- ⑪ 第1回教育委員会 (H29.1.20)
- 平成28年度末人事異動の状況について
- ⑫ 第2回教育委員会 (H29.2.27)
- 平成29年度校長・教頭等異動内申について (議案第1号)
 - 平成29年度教諭等異動内申について (議案第2号)
 - 平成29年度菰野町学校教育指導方針について (議案第3号)

- 菰野町人権教育基本方針について（議案第4号）
 - ⑬ 第3回教育委員会（H29.3.17）
 - 平成29年度菰野ふれあい教室運営要項について
 - 平成29年度いじめ不登校対策事業について
 - 菰野町特別支援教育巡回コーディネーター配置要項について
 - ⑭ 第4回教育委員会（H29.3.28）
 - 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する規則の一部を改正する規則（議案第5号）
 - 平成28年度末教職員人事異動に伴う管理職等面接について
- *委員会審議において、上記の議案、事項以外にも学校教育所管事項及び社会教育所管事項等について審議を行っている。

2 平成28年度菰野町教育方針

(1) 学校教育

「新しい時代をたくましく生きる子どもの育成」

・小中学校【資料2】

教育課題を的確にとらえ、子どもを主体にした創意ある教育課程の編成に努め、家庭・地域社会との確かな連携のもと魅力ある教育活動の推進を図る。

・幼稚園【資料3】

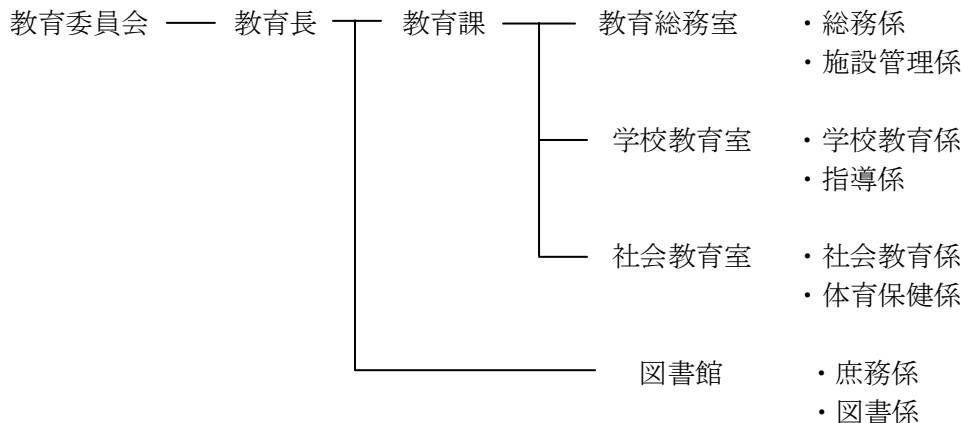
自発的な活動と遊びを通して、総合的な指導により人間形成の基礎を培う。遊びを中心とした生活を通して、生きる力の基礎となる心情・意欲・態度が身につくようにする。

(2) 社会教育

「生涯学習の理念に基づいて幼児期から高齢者に至るすべての住民に少しでも多くの学習の場と機会を確保しながら健康で心豊かな人づくり、地域に根ざした町づくりの実現に努める。」

3 事務局体制

(1) 事務局組織【資料1・10】



(2) 職員数の状況（常勤職員）

H28.4 現在

課名	課長	室長	課長補佐	係長	係	嘱託	臨時	その他 (国際交流員)	合計
教育総務室・学校教育室	1	2	1	1	2	-	2	2(ALT)	11名
社会教育室	-	1	-	3	4	-	2		10名
図書館	1	-	-	1	1	5	2	-	10名
合計	2	3	1	5	7	5	6	2	31名

(3) 外部職員数【資料5】

(4) 教育予算の推移（決算） *学校教育には教育総務費・奨学金・幼稚園費を含む（単位：千円）

区分	H24	H25	H26	H27	H28
学校教育	1,238,925	1,092,110	1,216,926	1,165,531	1,338,454
社会教育	546,639	291,115	196,276	243,553	375,518
図書館	65,352	68,162	71,060	72,653	74,968
合計	1,850,916	1,451,387	1,484,262	1,481,737	1,788,940
町一般会計	10,877,145	10,767,095	10,894,770	11,150,773	13,117,623
教育費割合%	17.0%	13.5%	13.6%	13.3%	13.6%

Ⅲ 事務事業の執行状況

1 学校教育

(1) 豊かな人間性を育む教育の推進

① 人権教育の推進

各学校が策定した「人権教育推進計画」に基づき、子どもたちの人権尊重の意識と実践力を養うため、教科等指導や生徒指導、学校経営などの教育活動全体を通して、一人ひとりの存在や思いが大切にされる「人権感覚あふれる学校づくり」をめざし、町内すべての小中学校で、子どもたちの発達段階に応じた「人権教育カリキュラム」を作成し取組を進めた。

また、人権意識を培うための学校教育のあり方について、三重県教育委員会人権教育課と連携し、幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導法等の改善及び充実に努めた。平成28年度の三重郡人権・同和教育研究協議会研究推進校である朝上幼稚園、川越北小学校において研究発表会が開催され、三重郡内の多くの学校・園の先生方とともに研修を深めた。

② 道徳教育の推進

今年度も、各学校でそれぞれの実態に即した道徳教育の全体計画を作成し、学校教育全体を通して子どもたちの発達段階に応じた道徳教育を実施した。また、道徳の教科化に向けて、重点目標や道徳の時間の位置づけの明確化を図った。道徳の時間はもとより、各教科や総合的な学習の時間および特別活動のそれぞれの特質に応じて子どもたちの発達の段階を考慮し、生命を大切にする心や善悪を判断する力を育て、子どもたちの道徳性が養われる教育活動を推進した。また、教育活動全体を通してボランティア活動を推進し、ボランティア活動に臨む精神の涵養や態度の育成を図り、地域に積極的に貢献しようとする心を育んだ。

③ いじめや暴力を許さない子どもたちの育成

いじめは「どの子にも、どの学校でも起こり得る」ことであることを周知徹底し、学校教育に携わるすべての関係者がいじめの兆候をいち早く把握して迅速に対応するよう、学期に1回以上のアンケート調査や個別面談等により、いじめの早期発見・早期対応に努めた。いじめ問題の根本的な解消に向けて子どもたちの人権感覚を高め、思いやりの心や個性を認め合う力を育成し、さらには違いを多様性として理解する力を培い、「いじめを許さない心」を育むとともに「いじめを許さない」「見て見ぬふりをしない」ことが自然で当然な価値観とされるよう取組を進めた。また、情報モラル教育やリスク教育を推進するとともに、教職員や保護者等の情報技術に対する対応力の向上を図り、いじめを含むネットトラブルの未然防止や早期発見、早期対応にも努めた。

菰野ふれあい教室を町単独事業として「三重県民の森ふれあいの館」で週3回、指導員2名体制で実施した。平成28年度は小学生5名と中学生10名が入級した。個別指導を中心に基礎学力定着のための学習支援に努めるとともに、教育相談セラピストも年15回派遣し、不登校児童生徒（保護者を含む）の相談に応じてきた。入級以来、継続して来室した児童生徒もいたが、なかなか来室できなかった者もいた。入級児童生徒のうち、昨年度より継続して入級していた小学生1名・中学生1名は年度当初から、小学生2名は2学期から学校へ登校できるようになった。（年度当初の2名は

また不登校状態に戻ったが。) 中学校3年生2名は自分が希望する高校等への進学を果たすことができた。

教育委員会事務局に非常勤の教育相談員を配置し、教育相談にあたってきた。今年度は、来所62件(昨年度27件)、電話による相談4件(昨年度11件)となっている。相談内容としては、不登校の問題や学校生活への適応について、そのほか学校への要望等であった。なかでも相談内容として一番多かったのは、個別の指導及び支援が必要な児童生徒についての相談で、カウンセラーや子ども家庭課と連携して発達検査も実施しながら支援の方向を考えたものは28件あった。

不登校児童生徒数は、小学校で20名(前年度12名)、中学校で37名(前年度43名)と、小学校で8件増加し、中学校で6件減少となった。不登校の原因は種々様々である。教育相談員や菰野ふれあい教室指導員が学校の不登校対策委員会に出席するなどして学校と連携し、また各学校においては関係機関等と情報の共有を図りながら指導及び支援にあたってきた。

(町不登校児童生徒数)

人、()内は%、H28は暫定値

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	7(0.28)	10(0.40)	7(0.29)	17(0.72)	12(0.51)	20(0.84)
(全国平均)	(0.33)	(0.31)	(0.36)	(0.39)	(0.42)	
中学校	31(2.30)	22(1.67)	35(2.66)	44(3.35)	43(3.36)	37(3.10)
(全国平均)	(2.64)	(2.56)	(2.69)	(2.76)	(2.83)	

④ 安心できる集団づくり

学校においてはすべての子どもたちにとって居心地の良い学校となるように、子どもたちに対する観察と教育相談に加えて、子どもたちの内面を知ることのできるQ-U調査を実施するなど、さまざまな観点から子どもたちの実態を把握し、日常の学級指導や特別活動なども活用しながら集団づくりの取組を進めた。

児童生徒の悩みを積極的に受け止めることができるようにするため、今年度もスクールカウンセラーや生徒指導推進協力員、スクール相談ネットワークを町単独で配置し、生徒指導体制の確立に努めた。学校内の巡回や問題行動等の予兆の早期発見、未然防止、保護者への支援等の取組を進めてきた。各校の状況をスクール相談ネットワークと情報共有し、子ども家庭課や児童相談所、四日市西警察署、三重県教育委員会のスクールソーシャルワーカーや生徒指導特別指導員等の関係機関と連携して、適切な指導に努めた。

⑤ 読書活動の推進

読書活動を通して、子どもたちの感性を磨き、表現力や想像力を豊かなものにし、人生をよりよく生きる力を身につけさせる等、豊かな心の育成に取り組んできた。また、読書活動は主体的な学びや読解力や言語力、創造力を育む重要な学習活動である。学校においては、一斉読書や読み聞かせ、家庭読書の啓発に努めた。

また、平成28年度より町内すべての小中学校へ菰野町図書館司書が定期的に巡回訪問し、菰野町図書館と学校が連携し、図書ボランティアの協力も得ながら、学校図書館の環境整備に努めた。菰野町図書館司書については平成28年度より1名増員し、2名体制で月1回から2回と訪問回数も増やした。各校に導入してきた図書システムも軌道に乗り、選書・購入・除籍なども効率よくできている。

	実学級数	図書標準数	H28 末蔵書数	達成率
菺野小学校	36学級	13,480冊	15,267冊	1.133
千種小学校	15学級	9,160冊	9,321冊	1.018
朝上小学校	20学級	10,760冊	12,865冊	1.196
鵜川原小学校	13学級	8,360冊	10,893冊	1.303
竹永小学校	14学級	8,760冊	9,326冊	1.065
菺野中学校	23学級	15,200冊	17,668冊	1.162
八風中学校	15学級	12,160冊	15,640冊	1.286

⑥ 郷土教育の推進

自分たちが育ってきた地域を大切に守っていこうとする心や地域に貢献しようとする態度を養うなど、郷土について考える機会を充実させていくため、学校と地域が連携し、地域の教育資源や「わたしたちのまち菺野町」(社会科副読本)を活用し、「郷土を知り、郷土から学ぶ」学習活動を推進した。平成28・29年度にかけて菺野町全小中学校で実施していくコミュニティ・スクールの取組とも関連づけながら郷土教育を推進していく。

(2) 確かな学力と社会参画力を育む教育の推進

① 学力の育成

きめ細かな個に応じた学習指導の充実を図るために、非常勤講師を町単独で各学校に配置し、小学校では中学年と高学年の算数科で、中学校では2年生と3年生の数学科及び英語科を中心に少人数指導を継続的に行っている。

小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」、小学校5年生、中学校2年生を対象に実施した「みえスタディチェック」の結果を踏まえ、各学校における成果と課題を整理し、それぞれの強みをさらに伸ばし、弱みを克服するための授業改善に取り組んだ。また、学習状況調査により家庭での学習の仕方にも課題がみえてきたことから「家庭学習の手引き」を作成し、平成26年度より町内の全児童生徒と保護者に配付している。各学校においては、家庭学習の重要性についての家庭への啓発と、学ぶ習慣が身につくための児童生徒への指導を求めた。

また、平成28年度から小学校5年生、中学校2年生で「みえスタディチェック」を実施することに伴い、三重郡内の小中学校で継続的に実施している標準学力検査(CRT検査)の実施学年を、小学校5年生、中学校2年生から小学校4年生、中学校1年生に変更した。小学校4年生では国語科と算数科で、中学校1年生では国語科と社会科、数学科、理科、英語科で実施した。検査後は、結果を三重郡教育振興会で分析して児童生徒の学力の定着状況を把握し、各校の指導方法の工夫及び改善に繋げた。

「確かな学力」の定着を図るために、菺野町教職員の研修の充実にも努めた。特に、平成28年度は竹永小学校、朝上小学校において「学力向上に向けた指導体制確立支援事業」を受け、三重県教育委員会と連携しながら教職員の授業力向上に努めた。

② 特別支援教育の推進

特別な支援が必要な児童生徒について、各校で校内特別支援委員会を組織し、校内のコーディネーターが中心となり児童生徒への支援のあり方について組織的に検討した。その際、町内に2名配置している菺野町特別支援教育巡回コーディネーターを派遣し、助言する体制も整えた。対象児童生徒については、個別の教育支援計画及び個

別の指導計画を作成したうえで適切な指導及び支援を行った。また、特別支援教育支援員11名を各学校の状況に応じて配置し、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への支援にあたってきた。さらに、子ども家庭課とも連携し、個別の指導及び支援が必要と思われる児童生徒について、みえ発達障がい支援システムアドバイザーに助言を求めたり、アドバイザーが対象となる児童生徒へ直接対応したりすることで、学校での指導及び支援に活かしてきた。

特別支援学級在籍児童生徒への指導及び支援については、校内研修会等で全教職員が授業を参観し情報を共有したり、菰野町巡回コーディネーターが訪問し、指導及び支援のあり方について助言したりしてきた。また、37名の介助員を学校の状況に応じて配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒への支援にあたってきた。

菰野町就学指導委員会では、対象となる園児、児童及び生徒の観察や聞き取りを行い、あわせて保護者の就学相談も行うことで、子どもや保護者のニーズに合ったよりよい就学指導を目指している。

③ 幼児教育の充実

就学前教育と保育の両方を提供する幼保一体施設の運営を継続して行い、町内全ての小学校区で保護者のニーズに寄り添った就学前教育及び保育・幼児教育の充実に努めた。幼保一体化幼稚園、単独幼稚園の全てにおいて3歳児保育を実施している。

各中学校区の校園長会議や子ども支援ネットワーク会議の中で、保幼小中の連携を目的とした研修会をもち、学校や園の状況、教育課題、指導方法等についての共通理解を深めることができた。また、幼児教育が小学校教育開始の大切な準備段階であることから、園児と児童が相互の活動体験や参観等を通して、園児と児童の交流を行ってきた。さらにキャリア教育の一環として、職業体験学習を通して園児と中学生の交流も進めてきた。今後も学びの連続性を考慮した保幼小中の連携を深めていく。平成29年度より朝上幼稚園が朝上保育園と一体化し、町内すべての地区で幼保一体化が図られる。

④ 国際理解教育の推進

外国語指導助手2名（JET青年）を小学校及び中学校に派遣し、小学校の外国語活動及び中学校の英語教育の充実に努めた。またALT担当者会議を定期的で開催し、小中学校での連続した学びの実現のための取組についても情報交換を行ってきている。平成27年度からは平成32年度の小学校英語科導入に向け、ALT担当者会議を中心に準備、協議、研修を進めている。

⑤ 情報教育の推進

子どもたちが主体的に情報を収集して選択し、自分の考えをわかりやすくまとめて表現することや、デジタル教材等を活用した効果的な学習を進めることができるよう、ICTの活用を推進した。情報機器の基本的な操作や仕組みを理解し情報技術を適切に選択し利用していける力や、おびたしい情報の中から必要な情報を選択し活用する力を身につけることができるよう、また子どもたちが適切な判断力と責任を持って情報を扱い、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度が育つよう、情報教育の充実を図った。

⑥ キャリア教育の推進

各教科及び道徳、特別活動、総合的な学習の時間等、教育活動全体を通して、かつ他の教育活動とのバランスに配慮しながら、汎用性のある学力、コミュニケーション

能力、忍耐力、規範意識、マナー、働く者の権利・義務についての理解、男女共同参画を重んずる態度等、社会的・職業的自立に必要な能力の育成を図った。特に中学校においては、子どもたちが望ましい勤労観や職業観を持ち、主体的に進路を選択する能力を身につけていくことをめざし、職場体験学習を実施した。

(3) 健やかな体を育む教育の推進

① 健康教育の充実

子どもたちが自分自身を価値ある存在と認めて自分を大切に思う自尊感情を育むなど、教育活動全体を通して命の教育に取り組んだ。また、性に関する教育や薬物乱用防止教育等、子どもたちの健康課題については、子どもたちの発達の段階に応じて、体育や保健体育の教科を中心に養護教諭や栄養教諭などとも連携し、学校の教育活動全体を通じた保健・健康教育を実施した。養護教諭により保健だより等を発行し、児童生徒だけでなく、保護者に対しても健康教育の啓発も行った。

② 体力・運動能力の向上

学校体育では、体育や保健体育の授業及び運動部活動、スポーツ行事など、学校教育活動全般を通して、子どもたちが運動やスポーツの楽しさ、喜びを体験し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培うものとして充実を図ってきた。

児童生徒一人ひとりがそれぞれの能力と適性に応じて、自らの運動の課題を自ら解決することによって運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動の技能を高めることができるように授業づくりを進めた。

平成28年度より千種小学校で県教委から小学校体育体力向上推進事業を受け研究を進めている。体育科の授業においてきめ細かな指導をすることにより、児童の体力向上につなげた。

③ 食育推進事業

望ましい食習慣の形成、食に関する正しい知識の習得、さらにはその知識に基づいて食品の品質および安全性について自ら判断できる能力の育成を図った。また、栄養教諭などを中心に、校内で「食に関する指導」の計画を立て、学校教育全体を通して望ましい栄養や食事の摂り方や食に関する正しい知識等、指導内容の充実を図った。

平成28年度は菰野小学校、朝上小学校に栄養教諭を配置し、食育を推進した。配置した栄養教諭は自校の指導だけでなく、所属校が属する中学校区の他の小中学校も担当し、小学校1年生から中学校3年生までのそれぞれの発達段階に応じた食育指導を、担任や養護教諭と連携して実施した。

また、小学校では給食だよりを定期的に発行し、児童だけでなく保護者に対しても食育の啓発等に取り組んだ。町としては、関係課等の担当職員による食育ネットワーク会議を年4回開催し、食育の推進に努めている。

(4) 信頼される学校づくり

① 開かれた学校づくりの推進

菰野町においては、平成26・27年度に八風中学校がコミュニティ・スクール導入の国の研究指定を受け、中学校区の小学校も巻き込みながら導入のための準備を進めた。平成28年度には八風中学校区で、平成29年度には菰野中学校区でコミュニティ・スクールをスタートさせていく。

菰野町学校教育指導方針の一つである「開かれた学校づくり」を基本として、各学校においては地域性や子どもたちの状況に応じた特色ある学校経営方針を学校づくり

ビジョンに位置づけている。学校づくりビジョンは、学校だよりや各校のホームページ等を活用して公開している。また、児童生徒や保護者、教職員を対象とした学校評価についても同様に情報公開を行っている。

学校経営品質の導入やコミュニティ・スクール、学校評議員制度等を活用することで、保護者や地域住民が学校運営に参画する機会を増やしている。さらに学校公開週間を通して日頃の教育活動を広く公開するとともに、地域の人材を活用した外部講師（ゲストティーチャー）を教育活動の中に取り入れる、また中学生が地域のふれあいまつり等にボランティアとして参加するなど、地域と学校の双方向の連携を図り、信頼される開かれた学校づくりに努めた。結果、スタートした八風中学校区において、これまでの地域とのつながりをスムーズに組織化できたり、地域の方々と児童生徒の関わりからそれぞれのよい刺激となり、学校品質の向上につなげることができた。

また、子どもたちの安全・安心の確保のために、学校とPTAが協力して通学路点検を行い、教育委員会や関係行政機関、警察と連携して通学路の改善に努め、登校時の見守り等を実施した。

② 教職員の資質向上

日常的にOJTによる人材育成を行い、授業の進め方や生徒指導のあり方等の具体的な課題について同僚との議論を通して互いの力を磨こうとする「育てる文化」をつくりながら教職員としての資質の向上を図った。また、教職員同士の対話を重視し、互いに認め合える職場づくりをめざすとともに、学校の課題を共有し解決していくために、組織として対応する教職員集団を育成し、学校組織の活性化を図った。若い教員が増加する中で、学校行事前などにミドルリーダーによる時間外研修を実施する学校もあった。

③ 子どもたちと向き合う時間の確保

教員による日常的な児童生徒との関わりに加え、教育相談等を定期的にも実施し、児童生徒の思いの把握や信頼関係の構築に努めた。

また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置や図書館司書の訪問時間や回数を増やすなどの専門職種の学校への導入を積極的に推し進め、そのサポートにより、教員が指導力を効果的に発揮できたり、教育の質を一層高められたりでき、子どもたちと向き合う時間が生み出された。

④ 安全教育の推進と学校施設・設備の充実

子どもたちがさまざまな事件や事故及び災害等から自らの命を守るために、あらゆる教育活動の中に安全教育（生活安全〈防犯を含む〉教育、交通安全教育、防災教育）を位置づけ、関係機関や団体等と連携しながら、子どもたち自らが危険を予測したり回避する力の育成に努めた。

施設整備事業の主なものとして、学校エアコン整備事業では、全小学校で空調設備設置工事を、全中学校で調査設計を、校舎の非構造部材等改修事業では、菰野・千種小学校、菰野中学校については耐震化工事、朝上・鶴川原・竹永小学校、八風中学校では点検・調査及び設計業務を、再生可能エネルギー等導入事業では、菰野・朝上・鶴川原小学校、菰野・八風中学校の設計監理業務を行うとともに蓄電池設備の設置工事等を、老朽化したプールの改修に関しては、鶴川原小学校の設計監理業務を行うとともに改修工事を、他に下水道に接続するために竹永小学校の排水設備設置工事をそれぞれ実施した。

(施設整備事業の概要)

工 事 名	請 負 業 者	請 負 金 額	工 期	工 事 概 要
鵜川原小学校 プール改修工事	辻木材 株式会社	49,668,120 円	12月15日 ～ 3月31日	プール槽 PEU-I 塗装、プールサイド 防滑シート、シャワーユニット・手洗ユニット設置、付属棟内外 部改修、便所洋式化、ろ過機取替
菰野小学校 校舎非構造部材等 耐震化工事	辻木材 株式会社	23,321,520 円	12月2日 ～ 3月31日	ガラス飛散防止フィルム貼り、収納棚 等固定化
千種小学校 校舎非構造部材等 耐震化工事	諸岡建設 株式会社	12,634,920 円	12月2日 ～ 3月31日	ガラス飛散防止フィルム貼り、収納棚 等固定化
菰野小学校 再生可能エネルギ ー等導入工事	岡田工業 株式会社	22,077,360 円	6月17日 ～ 10月11日	太陽光発電設備 10kw 蓄電池設備 15kwh
朝上小学校 再生可能エネルギ ー等導入工事	三重石商事 株式会社	17,407,440 円	7月1日 ～ 10月11日	蓄電池設備 15kwh
鵜川原小学校 再生可能エネルギ ー等導入工事	四日市電機 株式会社	17,398,800 円	7月1日 ～ 10月11日	蓄電池設備 15kwh
菰野小学校 空調設備設置工事 (機械設備工事)	北勢電気 株式会社	50,242,680 円	6月16日 ～ 9月30日	空調設備設置工事
菰野小学校 空調設備設置工事 (電気設備工事)	株式会社 第一電気工事	33,874,200 円	6月24日 ～ 9月30日	空調設備設置に伴う電気設備工事
千種小学校 空調設備設置工事 (機械設備工事)	藤原工業 株式会社	27,555,120 円	6月17日 ～ 9月30日	空調設備設置工事
千種小学校 空調設備設置工事 (電気設備工事)	有限会社 三重電設	20,169,000 円	6月24日 ～ 9月30日	空調設備設置に伴う電気設備工事

朝上小学校 空調設備設置工事 (機械設備工事)	北勢電気 株式会社	36,240,480 円	6月17日 ～ 9月30日	空調設備設置工事
朝上小学校 空調設備設置工事 (電気設備工事)	三重電設 株式会社	29,481,840 円	6月24日 ～ 9月30日	空調設備設置に伴う電気設備工事
鵜川原小学校 空調設備設置工事 (機械設備工事)	有限会社 山下設備工業	26,461,080 円	6月17日 ～ 9月30日	空調設備設置工事
鵜川原小学校 空調設備設置工事 (電気設備工事)	音羽電気 株式会社	29,742,120 円	6月24日 ～ 9月30日	空調設備設置に伴う電気設備工事
竹永小学校 空調設備設置工事 (機械設備工事)	株式会社 カキトー	45,849,240 円	6月16日 ～ 9月30日	空調設備設置工事
竹永小学校 空調設備設置工事 (電気設備工事)	四日市電機 株式会社	17,766,000 円	6月24日 ～ 9月30日	空調設備設置に伴う電気設備工事
菰野中学校 校舎非構造部材等 耐震化工事	株式会社 佐野テック	30,011,040 円	12月2日 ～ 3月31日	ガラス飛散防止フィルム貼り、収納棚 等固定化
菰野中学校 再生可能エネルギー 一等導入工事	林電気工事 株式会社	24,861,600 円	7月8日 ～ 10月24日	太陽光発電設備 10kw 蓄電池設備 15kwh
八風中学校 再生可能エネルギー 一等導入工事	林電気工事 株式会社	25,272,000 円	7月8日 ～ 10月24日	太陽光発電設備 10kw 蓄電池設備 15kwh
千種小学校 朝上小学校 鵜川原小学校 菰野中学校 焼却炉解体工事	大栄環境 株式会社	1,047,600 円 972,000 円 1,468,800 円 1,026,000 円	4月13日 ～ 6月17日	小型焼却炉 1基、建屋撤去 小型焼却炉 1基、建屋撤去 小型焼却炉 1基、建屋撤去 小型焼却炉 2基、建屋撤去

[主な修繕等内容]

ア 小学校

- 菰野小学校 : プール機械室照明器具等修繕、防犯灯修繕、消防用設備修繕、デジタルテレビ修繕、給水管漏水修繕、ガス回転釜修繕（給食室）、オーディオメータ修理（検査機器）
- 千種小学校 : プールろ過機 10 ミクロンカートリッジ取替、防火扉・シャッター設備バッテリー交換、プールろ過機タイマー取替、漏電ブレーカー取替（東校舎）、屋内消火栓設備修繕
- 朝上小学校 : プールろ過機 50 ミクロンカートリッジ取替、体育館男子トイレ換気扇取替、消防用設備修繕、連続フライヤー温度センサー取替（給食室）、南棟ウォールライト取替（LED）、防犯カメラケーブル修繕、デジタルテレビ修繕、電話主装置修繕
- 鵜川原小学校 : プールろ過機 50 ミクロンカートリッジ取替、連続フライヤー修理（給食室）、照明器具交換（LED）、防犯用モニター修繕、
- 竹永小学校 : 放送設備修繕、給排水設備修繕、防犯カメラユニット修繕、壁掛扇風機修繕、天井制気口取替（給食室）、避難口誘導灯バッテリー交換

イ 中学校

- 菰野中学校 : 武道場避難口誘導灯移設、プール機械室改善工事、北校舎 4 階男子便所修繕、グラウンド照明器具取替、体育館タイマー取替、消防用設備修繕、中庭灯具取替（LED）、職員室空調機修繕
- 八風中学校 : プールろ過機 50 ミクロンカートリッジ取替、チャイムシステム・プログラムタイマー親時計修繕、合併浄化槽水中ブロー用安全弁取替、消防用設備修繕、武道場ポーチライト修繕、特別教室棟 2 階男子便所修繕

【評価と今後の方向】

平成 28 年度においても、第 5 次菰野町総合計画の方向性を踏まえて策定された教育大綱、菰野町教育振興基本計画に基づき教育活動を行った。この基本計画では、学校教育においては、菰野町の基本目標である「元気で心豊かな人が育つまち」をまちの将来像とし、「豊かな人間性」「確かな学力と社会参画力」「健やかな体」を基盤とした、『新しい時代をたくましく生きる子どもの育成』を目指すものとなっている。個別の主な事業についての評価と今後の方向については、以下のとおりである。

町内の不登校児童生徒数については、平成 28 年度は小学校で増加、中学校で減少となった。個々の状況により課題解決に至っていない事例もあるが、学校の支援室や放課後登校、菰野ふれあい教室での学習を通して、自己肯定感や自尊心の育成を図り、徐々に自己実現に向けての成果を上げている子どももいる。今後、子どもたち一人ひとりの状況に応じた多様な学びの場の提供が求められるなか、引き続き不安や悩みを受け止められる体制作り（教育相談の充実、楽しい学校生活を送るためのアンケート調査等の取組、カウンセラー等の配置、教職員のカウンセリングマインド研修等）の充実が必要である。

読書活動の推進については、学校での一斉読書の実施、図書標準数達成に向けての

書架整備、図書システムの導入による貸し出し閲覧の作業の簡略化や効率化を進めてきた。また、平成26年度より県PTA連合会と連携した県内一斉の取組である「みえの学力向上県民運動」の一つである「ファミリー読書」の取組も行っている。平成28年度から菰野町図書館司書を増員し、町内小中学校への派遣時間や回数を増やし、読書活動の充実を図った。今後も図書館司書や図書ボランティアと積極的に連携し、学校図書館の環境整備や子どもたちが読書に親しむ機会を提供していく。

学力の定着に向けて、町単独で各学校に少人数指導非常勤講師を配置し、少人数による授業を小学校では中学年と高学年の算数科で、中学校では2年生と3年生の数学科及び英語科で実施し、児童生徒一人ひとりにきめ細かな個に応じた指導をしてきている。今後も引き続き小学校の算数科と中学校の数学科及び英語科に重点をおいた少人数授業の推進を図り、基礎学力の定着ときめ細かな指導を目指していく。

平成28年度もすべての小中学校で小学校6年生と中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施、また平成28年度から小学校5年生と中学校2年生を対象に「みえスタディチェック」を、小学校4年生と中学校1年生を対象にCRT検査を実施した。結果については、これまでの継続的な取組のなかで、単なる学力定着の結果資料としてではなく、各学校で分析し、課題を明らかにして、その後の授業改善に取り組んできた。また、学年末には取組の検証も行った。今後も全国学力・学習状況調査やCRT検査、みえスタディ・チェックを有効に活用しながら取組を進めていく。

特別支援教育については校内特別支援委員会の中で、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を推進するために、個別の教育支援計画や指導計画を作成して、保護者や関係機関との連携を図り、児童生徒の指導及び支援にあたってきた。就学前、小学校、中学校と途切れのない支援体制を整えるため、子ども家庭課との連携を強めてきた。また、町内2名の特別支援教育巡回コーディネーターを各学校からの要請に応じて派遣することで、就学相談等の充実を図ってきた。今後、ますます特別支援教育の必要性が高まるなかで、途切れのない支援体制の整備と関係機関との連携を充実する必要がある。また、平成28年4月施行の障害者差別解消法にともない、今後も学校現場における合理的配慮の提供についても各校と協議しながら取組を進めていく。

幼児教育については、保護者の就労形態や社会状況の変化に伴い、子育て環境にも影響があらわれ、幼児教育及び保育に関するニーズが多様化してきているなか、幼稚園や保育園への待機児童対策と共に、同一の幼児教育の機会を提供するために、すべての地域において就学前教育及び保育の充実を図り、保育園と幼稚園の施設を共用する幼保一体化の運営方式に取り組んできている。幼稚園での3歳児保育も町内すべての園で可能となっており、平成29年度からは朝上幼稚園と朝上保育園が一体化され、全ての地区で幼保一体化となる。今後も菰野町の就学前教育の更なる充実を図っていくために、これまで進めてきたCLM（チェック・リスト・インみえ）や個別の指導計画、パーソナルカルテ等の取組も活用し、保育園・幼稚園、小中学校の連携をさらに深めていく。

英語教育については、外国語指導助手の活用と併せ、平成27年度から進めてきている小学校外国語導入に向けた準備を、国の動向や近隣市町の状況も把握しながら、今後も推し進めていく。

体力向上については、今後、町内すべての小中学校において体力テストを実施し、その傾向と課題を分析しながら、基礎体力の向上に向けて取組を進めていく。

コミュニティ・スクールについては平成29年度より町内すべての学校でスムーズにスタートできるよう、先進的にスタートしている八風中学校区での活動の情報共有を図りながら取組を進めていく。

学校施設・設備の充実については、全小学校に空調設備を設置し、寒暖の差を気にせず、1年を通して学習に取り組める環境整備を実施した。残る中学校2校については、平成29年度に実施する予定です。また、非構造部材の耐震化工事については、菰野小学校、千種小学校、菰野中学校の3校で実施し、地震等に備え、ガラス飛散防止対策及び収納棚の固定化を行った。残りの朝上小学校、鶴川原小学校、竹永小学校及び八風中学校の4校については、平成29年度に実施する予定です。再生可能エネルギー等導入工事については完了し、すべての小・中学校には、10kwの太陽光発電設備と15kwの蓄電池設備を配備した。

2 社会教育

(5) 地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実

①家庭の教育力の向上

家庭教育講座として、菰野町内の幼稚園、保育園における家庭教育講演会、親子将棋教室などを行った。

②地域における青少年活動の推進

青少年健全育成を推進するため、地域における非行防止の環境づくりや補導活動等を支援した。

③現代社会を生き抜く青少年の健全育成

青少年育成町民会議を中心とした環境浄化活動、非行防止パトロール、あいさつ運動等を支援し、補助金を活用することで活動の場を広げ、町ぐるみでの青少年育成活動に取り組んだ。

○青少年活動支援推進事業

事業名	期日	対象	場所	人数
コボンタフェスティバル	7月2日	小・中学生	町民センター ホール	200
親子でチャレンジ なるものご	11月3日	親子	菰野町庁舎 4階会議室	60
書初め大会	1月7日	幼・保育園児 小・中学生 一般	体育センター	120
書初め大会作品展示	1月10日 ～ 1月22日	〃	菰野町庁舎 1階ロビー	50
新春たこあげ大会	1月9日	親子	朝上小学校 (町民会議事業)	100
家庭教育講演会 「タッピング・タッチ」	3月1日	一般	町民センター ホール	200

(6) 活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進

①生涯学習推進体制の確立

よもやま歴史教室・かもしかライフカレッジ等、生涯学習の振興を図るための講座や、人権講座、講演会、コンサートなどを実施した。また、外国語指導助手により、隔月で国際交流会を開催し、町内における国際交流活動を推進した。

○生涯学習推進事業

よもやま歴史教室 2016

[主催]菰野町教育委員会/よもやま歴史サークル

回	通算	日時	内 容	講 師	人数
1	212	5月28日 14:00～	現存天守研究の最前線と菰野陣屋・角櫓の魅力 ～城郭建築の視点から～	広島大学大学院教授 三浦 正幸	155
2	213	6月18日 14:00～	近代日本の夜明けを告げる ～その時菰野(藩)は～	元菰野町史編纂員 樋口 公	121
3	214	7月16日 14:00～	織田信長四三三年目の真実 ～今、信長から何を学ぶか～	「歴史工房」主宰 明智 憲三郎	119
4	215	9月17日 14:00～	俳句略史 ～様々な人間模様～	俳人協会評議員 石井 烈	152
5	216	11月19日 14:00～	NHK29年度大河ドラマ おんな城主直虎 ～井伊家断絶の窮地を 救った女地頭～	NHK名古屋文化センター 講師 長谷川 博美	119
6	217	12月17日 14:00～	古代～中世における北伊勢の 仏像について	三重県総合博物館 学芸員 瀧川 和也	67
7	218	1月21日 14:00～	ユーラシア史の中の世界宗教	放送大学教授 高橋 和夫	94
8	219	2月18日 14:00～	世界記憶遺産『御堂関白記』と 藤原道長	国際日本文化研究 センター教授 倉本 一宏	83
9	220	3月18日 14:00～	世界遺産熊野古道 ～人をつなぐ道、救いの道～ 伊勢から熊野へ 熊野古道の 魅力について	里創人熊野倶楽部 コンシェルジュ 三石 学	77

かもしかライフカレッジ 2016 [主催]菰野町教育委員会/かもしかサークル

回	日時	内 容	講 師	人数
1	6月4日 10:00～	どんぐりとチョッキリの切っても 切れない奇妙な関係 —湿地植物だけじゃない。田光にも 棲む普通の生き物のおかしなくらし—	三重大学准教授 平山 大輔	16
2	7月23日 10:00～	お金道 LIVE —皆様お金は好きですか—	一般社団法人 日本お金道協会 代表 北岡 恵子	40
3	8月10日 18:30～	夏のほしぞら観望会	坂下星見の会	61
4	12月4日 13:00～	三重県生涯学習センター移動講座 笑いの健康増進効果について —笑いは百薬の長—	四日市看護医療大学 老年看護学 准教授 小林 美奈子	48
5	12月11日 14:00～	ウインターコンサート	三重ユナイテッド ウインドオーケストラ	483

○教育委員会主催 人権教育事業

事業名	期 日	場 所	人 数
各地区公民館 ・人権コンサート ・人権講演会	5月～2月 (5回) (5回)	各地区公民館 各地区コミュニティセンター 農村センター、けやきホール等	
平和祈念映画上映会 2016 「日本のいちばん長い日」	7月30日	菰野町町民センターホール	191
平和祈念トーク&コンサート ・コンサート ・体験談 ・演劇	8月6日	菰野町町民センターホール	123
平和祈念展	8月9日 ～ 8月14日	菰野町図書館ギャラリー	
人権講演会&コンサート	12月18日	菰野地区コミュニティセンター	138

○教育委員会主催 文化事業

事業名	期 日	場 所	人 数
菰野寄席 (第58回)	5月21日	菰野地区コミュニティセンター和室	49
町民盆踊り講習会	6月25日	菰野地区コミュニティセンターホール	85
コボンタフェスティバル	7月3日	菰野町町民センターホール	187

大野修三グループ JAZZ Concert	12月13日	菰野町町民センターホール	434
高倉 宏恵 新春ワークショップ&コンサート	1月14日	菰野町保健福祉センター けやきホール	135
響縁〜和と洋の出会い〜 麗明智翔×Trio Ensoleille コラボレーション コンサート	2月12日	菰野町町民センターホール	301
劇団ベンベン公演会	2月25日	菰野町保健福祉センター けやきホール	136
民話まつり	11月5日	菰野町町民センターホール	83名
成人式	1月8日	菰野町町民センターホール 菰野町体育センター	411
プロの音楽家による 課外授業アウトリーチ	12月～2月	町内各小学校	町内5校

○教育委員会支援文化事業

事業名	期日	場所	人数
第20回菰野町俳句大会	6月9日	菰野町保健福祉センター けやきホール	913句
第6回三滝川燈火祭り & 第29回町民盆踊り大会	8月20日	菰野町庁舎北駐車場	7,500

○国際交流事業（異国文化とふれあう）

事業名	期日	場所	人数
名づけの仕方ニックネームクイズ等	5月11日	菰野町庁舎4階会議室	15
ジェスチャークイズ トランプやスプーンを使った遊び	7月13日	菰野町庁舎4階会議室	14
慣用句・迷信クイズ	9月14日	菰野町庁舎4階会議室	18
だじゃれの意味クイズ、ジャックオランタン工作	11月9日	菰野町庁舎4階会議室	14
ジンジャーブレッドについて お菓子の家作り	1月11日	菰野町庁舎4階談話室	16
英語の詩の韻について・俳句 イースターエッグ作成	3月8日	菰野町庁舎4階会議室	17

②公民館機能の充実

生涯学習の推進を図るため、町公民館や地区公民館において各種学級、講座を開催するとともに、公民館を趣味のサークルの場として、町民センターや南部公民館、地区公民館等の施設を町民に開放した。

○公民館教室・講座

	教室・講座名	期間	日時	学習内容	講師名	会場	人数
1	文学講座	5月 ～ 2月	第4金曜日 13:30～ 15:00	「竹取物語」を 読む	三重県生涯学習 センター講師 河原徳子	町民センター 会議室	52
2	ロボット 工作教室	5月 ～ 2月	第3土曜日 9:30～ 11:00	ロボット製作を通 して、ものづくり に必要な知識、技 術を身につける	(株)ロボネット 堀田 武志	町民センター 会議室	16組 親子
3	家庭園芸 講座	5月 ～ 2月	第3木曜日 9:30～ 11:00	家庭菜園(花と 野菜作り)に 挑戦	花育 アドバイザー 鈴木 耕作	町民センター 会議室	13人 × 10回
4	ソーシャル メディア 講座	7月 ～ 2月	18:30 ～ 20:00	ソーシャルメデ ィアの活用等初 歩的な内容	有限会社 ザワン ノブ横地	菰野町庁舎 4階 会議室等	13人 × 10回

③図書館サービスの充実

当館は、平成20年4月11日に開館し、現在10年目を迎えており、町民をはじめ近隣市町の利用者の方々の生涯学習の場として、中学生、高校生から高齢者まで幅広い方々に利用いただいている。また、児童書、絵本、紙芝居から育児に関する資料を児童書架に配置するとともに、絵本の読み聞かせ、英語による絵本の読み聞かせ、菰野町に伝わる民話語り等を体感してもらっている。

さて、今年度実績については、滞在交流型図書館として年間延べ30万人の利用者に対し、38万冊の図書資料を提供するとともに、生涯学習成果発表の場の提供や催事の開催等、住民の生涯学習振興の需要に応えられる施設づくりに努めている。

ア) 図書館事業

事業名	開催日	場所	備考	参加者
子ども読書週間企画 「子どものための絵本ライ ブ&おりがみ」	5月5日	おはなし ルーム	はらぺこあおむしが大好きなフ ルーツをつくろう	多数
絵本読み聞かせ講座① (一般対象)	6月9日	催事室	講師 松岡由香さん 対象者 絵本の読み聞かせに興 味のある方	25人
読み聞かせまつり	6月18日	おはなし ルーム	読み聞かせボランティアみつけ！、レ 音楽ボランティア オルゴール、英語の 絵本読み聞かせボランティア西川恵子 さん	200人
図書館員体験	7月29日	図書館内	町内小学5・6年生に図書館の仕 事体験	11人
夏休み自然学習教室	8月3日	催事室 館周辺	講師 鈴木耕作さん、三重県自然 環境保全センター 対象：小学1年生～4年生	20人
夏の親子教室 ～ほしぞら観望会～	8月10日	催事室 交流ラウンジ	講師 星空観測ボランティア プラネタリウムによる説明及び 夏の星空の観望	40人 20組
三重県教育委員会委託 子ども司書育成事業	8月18日 他6日間	図書館内・ 県立図書館	図書司書の仕事を6日間体験し、 三重県全体研修会へ参加、三重県 から子ども司書認定証交付	小学生 5人

図書館フェア	10月2日	催事室 交流ラウンジ	雑誌リサイクルフェア 野の花いけばな教室(講師 横地 淳さん) 1日カフェ	多数
絵本読み聞かせ講座② (ボランティア対象)	11月17日	催事室	講師 松岡由香さん 対象者 図書館及び町内各小学 校で活動する図書ボランテ ィア	25人
秋の読書週間企画 「秋の読書スタンプラリー」	10月8日 ～ 11月30日	開架室	対象者 図書館利用者 中学生以上:70人 小学生:100人	170人
[後援事業] 民話まつり	11月5日	町民センター ホール	主催:菰野町教育委員会 共催:菰野町図書館	200人
手づくり絵本教室 ～世界に一冊だけの私の絵 本を作ろう～	11月19日	催事室	対象者 小学4年生以上 オリジナルな絵本づくりの体験 と作品発表	30人
おとなのための朗読会 「おはなしの小箱」	1月19日	交流ラウンジ	講師 松岡 由香さん	20人
クリスマス 「読みあそびライブ」	12月23日	交流ラウンジ	ブックメーカー 三浦伸也さん 対象:幼児～小学校中学 年	160人
大人のためのクラフト教室 「どんぐりアート」	3月15日	催事室	講師 打田吉一・美代子ご夫妻 どんぐりを使った作品づくり	20人

イ) 催事室利用状況

行事名	開催日	主催者名
英語で遊ぼう	4月2日	菰野町図書館
「伊勢志摩サミット」に関連した本の展示	～5月22日	菰野町図書館
読み聞かせ講座①(一般対象)	6月9日	菰野町図書館
第1回菰野町図書館協議会	7月1日	菰野町図書館
臨時学習室(催事使用を除く)	7月20日～8月31日	菰野町図書館
夏休み自然学習教室	8月3日	菰野町図書館
夏のほしぞら観望会	8月10日	菰野町図書館
図書館フェア	10月2日	菰野町図書館
私のアイデア貯金箱コンクール作品展	10月4日～25日	菰野郵便局
第2回菰野町図書館協議会	11月4日	菰野町図書館
読み聞かせ講座②(ボランティア対象)	11月17日	菰野町図書館
手づくり絵本教室	11月19日	菰野町図書館
書道展	12月10日・11日	花墨会
第3回菰野町図書館協議会	2月10日	菰野町図書館
大人のためのクラフト教室	3月15日	菰野町図書館

ウ) ギャラリー利用状況

行 事 名	開 催 日	主 催 者 名
早春の菰野山花めぐり&「田光のシデコブシ及び湿地植物群落」の開架によせて	3月23日～4月10日	菰野町教育委員会
湯の山温泉開湯 1300年に向けて(第2弾) ・湯の山の復興と発展	4月7日～10月6日	菰野町図書館(郷土資料コーナー)
スケッチ会水彩画作品展	4月11日～19日	菰野町芸術文化協会
森の風ようちえん写真パネル展	7月26日～8月7日	菰野町教育委員会
非核平和展 パネル展示	8月9日～14日	総務課
菰野ばんこ会萬古焼の紹介展示	8月19日～29日	菰野ばんこ会
救急PRポスターの作品展	9月4日～11日	菰野町消防本部
子どもの姿写真展	9月13日～25日	川嶋保則
東日本大震災・熊本地震で被災した犬猫写真展	9月28日～10月7日	菰野オアシスの会
ハーフマラソン応援川柳・ポスター展	10月8日～23日	鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン実行委員会
菰野町の囲碁・将棋展/文化財保護強調週間に伴う展示(併設)	10月25日～11月6日	菰野町教育委員会
健康づくりポスター・社会を明るくする運動ポスター各表彰作品展	11月8日～22日	健康福祉課
歴史こぼなし「日下部の柿の木」展	11月23日～30日	菰野町図書館(郷土資料コーナー)
花の写真展	12月2日～11日	吉田三郎
ハンセン病問題啓発パネル展	12月12日～17日	総務課
ハンドメイド品(手芸)と絵の展示	12月18日～24日	蟬平麻記子
湯の山温泉開湯 1300年に向けて(第3弾) ・江戸時代の湯の山温泉	10月7日～3月20日	菰野町図書館(郷土資料コーナー)
全国孔版画愛好者による年賀状展	1月14日～22日	大羽根孔版画同好会
写生大会・読書会作品展(春の火災予防運動)	2月28日～3月8日	菰野町消防本部
公民館活動と郷土学習資料展示	3月9日～12日	千種地区公民館
きょうの菰野町、おおむね「カモシカ」ときどき「こもしか」写真展	3月15日～4月16日	菰野町図書館
湯の山温泉開湯 1300年に向けて(第4弾) ・明治維新後の湯の山温泉	3月22日～	菰野町図書館(郷土資料コーナー)

エ) 平成28年度図書館貸出等の状況

開館日数	294日	新規登録者	1,716人
貸出人数	118,275人	貸出冊数	372,241冊
購入冊数	7,951冊	受入冊数	9,509冊

登録者数、蔵書冊数及び購入冊数（平成 29 年 3 月 31 日現在、購入冊数は累計）

登録者数	36,211 人	購入冊数	77,009 冊
蔵書冊数	146,288 冊	※蔵書冊数は、図書資料、A V 資料、雑誌の総数	

オ) 研修等の受け入れ実績

① 職場体験学習（中学生）

受け入れ期間	学 校 名	人 数
5 月 31 日～6 月 2 日	四日市市立西陵中学校	3 名
6 月 1 日～3 日	四日市市立大池中学校	2 名
6 月 7 日～9 日	四日市市立保々中学校	2 名
6 月 15 日～17 日	四日市市立常磐中学校	2 名
9 月 13 日～15 日	菰野町立菰野中学校	4 名
11 月 15 日～17 日	菰野町立八風中学校	4 名
11 月 18 日	三重県立朝明高等学校	2 名
1 月 18 日～25 日	三重県立西日野にじ学園	1 名

② 各種研修

受け入れ日	摘 要
6 月 3 日	地方自治体実地体験（国家公務員）（3 名）
7 月 24 日	伊賀市上野図書館視察（41 名）
7 月 28 日	教職員初任者研修（菰野町：25 名）
7 月 29 日	いなべ市議会教育民生委員会視察（8 名）
8 月 2 日・3 日	教職員新任者研修（竹永小 2 名）
8 月 9 日・10 日	教職員新任者研修（菰野中 1 名）
8 月 10 日	愛知工業大学視察（8 名）
8 月 25 日	江南あおむしの会視察（12 名）

③ 社会見学・施設見学

受け入れ日	摘 要
10 月 6 日	菰野町立菰野小学校遠足（1 年生：180 名）
10 月 18 日	菰野町立竹永小学校社会見学（3 年生：63 名）
10 月 27 日	竹永保育園遠足（111 名）
11 月 18 日	菰野町立千種小学校（3 年生：30 名）

④ブックトーク訪問

実施日	対象学年	学校名
7月1日	小学校3年生	菰野町立竹永小学校
7月5日・7日		菰野町立菰野小学校
7月7日		菰野町立千種小学校
7月8日		菰野町立鶴川原小学校
7月13日		菰野町立朝上小学校
11月24日	小学校1年生	菰野町立竹永小学校
11月29日・30日		菰野町立菰野小学校
12月1日		菰野町立千種小学校
12月2日		菰野町立鶴川原小学校
12月6日		菰野町立朝上小学校

【評価と今後の方向】

図書資料の収集に努めてきた結果、蔵書冊数は14万冊を超えた。これは開館当時の1.8倍にあたる。図書開架室の入館者数は年間30万人で推移している。これに年間を通じた生涯学習活動の場の提供や催しに参加した利用者を含めると、館全体では年間延べ44万人になった。

学校図書館への司書派遣事業については、小学校5校と中学校2校を対象として、年間通して月2回程度の巡回を行い、また、小学1年生及び3年生にはブックトークを通じて読書の楽しさを伝えた。

「第二次菰野町図書館整備基本計画」を基に職員の体制強化を図り、また、利用者から要望が多かった月曜休館日について、祝日及びゴールデンウィーク、小・中学生の夏休み最終月曜日を開館した。また、金曜日について開館時間を1時間延長した。結果を評価し今後の図書館運営に反映する。

引き続き図書資料の充実に努めるとともに、生涯学習拠点機能を活かした滞在交流型図書館として利用しやすい施設運営にあたる。

学校図書館への司書派遣事業についても、月2回訪問を継続し、担当教師や図書ボランティアへの支援及び学校図書館の環境整備を協力することで、児童・生徒の読書支援を行う。

(7) 健やかな心身をつくる生涯スポーツの推進

①スポーツ活動の機会と教室・大会などの充実

元気アップこものスポーツクラブが行うスポーツ教室開催事業に対して助成を行い、13種目の子どもを対象としたスポーツ普及・育成教室(22教室)を実施し、スポーツ活動の機会の提供や競技力の向上を図るとともに、町体育協会が行うスポーツ大会開催事業に対して助成を行い、競技種目の振興を図った。

さらに、町民をはじめ県内外から4,000人のランナーが参加した第11回鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンの開催運営経費の助成を行い、健康増進と合わせて町内のボランティアによる協働作業により町の更なる活性化、菰野町民の結束力向上を図り、県

内外へ菰野町の情報発信をすることができた。(会場入場者 7,500 人、大会協力スタッフ 980 人)

加えて、住民参加型スポーツ交流イベント「菰野ヒルクライム・チャレンジ・イン 鈴鹿スカイライン事業」に対しても助成を行い、行政・地域住民・観光・商工・体育団体等様々な分野が連携・協力し合って協働し、地域の連帯を深めることができ、かもしかハーフマラソンと同様、町内外へ菰野町について情報発信する絶好の機会となった。

②スポーツ団体の育成や指導者の養成、支援

スポーツ推進委員を通じて、いつでも手軽にできるニュースポーツの普及を促進し、町全域への運動意識の向上を図った。

③スポーツ施設の整備、充実

平成 28 年度における主な施設整備としては、大羽根緑地旧管理棟、大羽根東野球場、大羽根サッカー場東坂路の改修を行うとともに、テニスコート、朝明グラウンド倉庫、B & G 艇庫防護柵の修繕を行い、スポーツ施設利用者の利便性向上と、安心して快適にスポーツに親しむことができるように努めた。

町営の体育館やグラウンドについては、年月の経過により老朽化しているため、順次改修や修繕を実施し、安全に使用してもらえるように努めている。

【評価と今後の方向】

元気アップこものスポーツクラブ事業や鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンなどを通じて、多くの住民がスポーツに親しみ、スポーツに対する意識を高めることができた。

また、芸術文化・スポーツの振興を図り、各種団体間のネットワーク事業を企画実施し、地域社会づくりに寄与することを目的として設立された、特定非営利活動法人菰野町スポーツ・文化振興会の事業を、住民自らが参画し協働して実施することによって、発展させることができた。

各団体による各種事業への自主的運営が進んできていることから、今後も振興会を通して、町民一人ひとりがスポーツへの意識を高め、健康管理しつつ楽しくスポーツができる環境整備に努めるとともに、スポーツに対する受益者負担意識の改革をさらに進め、負担する対価に見合った環境整備と施設の充実を図り、生涯スポーツ社会の実現を目指してさまざまな事業を展開していきたい。

(8) 豊かな文化の継承と創造

①芸術文化活動への支援と交流の促進

菰野町における芸術文化とスポーツの振興を図り、各種団体間のネットワーク事業を企画して実施し、地域社会づくりに寄与することを目的とした NPO 法人「菰野町スポーツ・文化振興会」が、体育協会事務局・芸術文化協会事務局を担当し、活動支援を行っている。

三条市・東海村との民間促進事業については、両市村との写真部会による交流活動や、撮影会を実施した。また、スポーツ交流として菰野ランニングクラブがスノーランカップ三条大会に参加し、交流を図った。

②有形と無形の文化財や歴史的資産の保存と活用

国指定天然記念物である田光のシデコブシ及び湿地植物群落を良好な状態で保存継承していくため、保存管理計画をもとに、生態系の調査や雑草の刈取りを実施し、観察会を開催するとともに、東側部分の外周境界の確認を行った。

事業名	期日	場所	人数
国指定天然記念物 田光シデコブシ群落観察会	4月2日	田光シデコブシ群落	22

③郷土愛の育成

郷土の文化財等を理解し親しみを深めてもらえるよう、図書館 2 階郷土資料コーナーにて、年 2 回の展示替えを行い、庁舎 1 階にもミニコーナーを設けて郷土の歴史について展示をした。また、郷土史に対する問い合わせについては、図書館郷土資料コーナー等において対応した。

【評価と今後の方向】

生涯学習の振興を図るため、文化振興事業をはじめ、さまざまな事業に取り組んでいる。また、よもやま歴史教室、かもしかライフカレッジにおいては、自主サークルによる運営委託や協力により、自主的な事業運営に取り組んでもらっている。

青少年育成対策については、青少年育成町民会議を主体として、それぞれの関係団体が青少年の健全育成と非行防止のための取り組みを強化し、町ぐるみで青少年育成活動に取り組んでいる。今後も町民がそれぞれの分野において、自主的・自発的に関わりをもつような事業が増加するよう取り組みを進めていく。

IV 評価委員会の意見

1 教育委員会の運営

- ・ 中学校給食検討委員会の答申が平成 23 年 10 月に出され、教育委員会において検討を重ねた結果、教育委員会としてこの答申を尊重したいとのことですが、それ以降 8 年以上の歳月が経過しています。小学校給食施設の老朽化、給食調理員の確保等の課題も勘案し、限られた財源のなかで児童生徒の安全安心を最優先にした施設整備の優先順位の問題もあるかと思いますが、中学校給食の実現に向けて引き続きの努力を願い、第 5 次総合計画の後期基本計画の次期推進計画の実施予定事業として位置付けてください。

2 学校教育事務事業

- ・ 教育方針の中には幼稚園の記載があるのですが、町内すべてで幼保一体化された現状において、もともとの目的が幼稚園と保育園では違うので、幼稚園として運用されるようにしてください。
- ・ 町単独の非常勤講師の配置については、主要教科への重点配置等児童・生徒に対し、授業を効率的・効果的に運用されていると考えます。人員確保や予算措置等厳しい状況はあると思いますが、今後も継続するとともに充実していけるように努力してください。
- ・ 道徳・英語の教科化について、学校現場での戸惑いもあると思いますが、文部科学省において決定されていることから、早めに準備を始め、混乱なく授業を進められるように取り組んでください。

- ・ 小学校給食が始まって70年が経過していますが、いまだに中学校給食を実施していません。以前実施していなかった伊勢市・松阪市・津市・鈴鹿市でも中学校での完全給食を実施しています。北勢地区については実施できていない市町が多く、完全給食を実施しているのはいなべ市だけです。学校給食法においては義務教育諸学校の設置者の任務として、「学校給食が実施されるように努めなければならない」と規定されています。また、食育基本法が施行されたことから中学校給食と家庭での献立から栄養バランスを考えていけるように取り組んでください。
- ・ 学力の育成については、全国学力・学習状況調査等の数値にこだわりすぎず、調査結果を活用し、地域の良さを生かしながら取り組みを進めてください。
- ・ 特別支援教育では、介助員・支援員の適正配置はもちろん、巡回コーディネーターを委嘱するなど、学校や保護者の教育的ニーズに応えるための充実した取り組みは評価できます。今後は、子ども家庭課と連携する中で、個別の教育支援計画による途切れのない支援体制をより充実させていくことが求められており、特別支援教育に要する人員として指導主事の増員配置を検討してください。
- ・ 読書活動の推進では、学校において実施している一斉読書が、読書に勤しむひとつのきっかけづくりとなっています。今後、小学校の英語科必修の影響を受けて、この時間が削減されるのではないかと危惧するところです。よい習慣なので是非続けていってください。
- ・ 不登校児童・生徒への対応として、菰野ふれあい教室の充実やQ-U調査の実施、スクールカウンセラーの町単費での配置など解決に向けた取り組みは評価できます。また、教育委員会事務局が、各校の教育課題を迅速に把握し解決するために、スクール相談ネットワークなどの人的配置により、連携体制を整えていることも評価できます。今後は、いじめ問題など、人権にかかわる教育課題解決に向けて、学校に対する適切な指導、支援を充実させてください。
- ・ 図書館司書が学校図書館へのかかわりを強めることにより、各校の蔵書の平準化が図られるとよいと思います。また、学校図書館へ専任の司書教諭の配置ができるように、県に対しては継続して要望、申し入れを行って行ってください。
- ・ 中学校の部活動について、生徒の休養時間、身体の発達面、教員の超過勤務を含めた負担の増加等諸般の状況を勘案すると、ある程度の制約を設けることは必要であると考えます。
- ・ 今年度の大きな学校施設の整備としては、全小学校の普通科教室等への空調設備の設置、菰野・千種小学校、菰野中学校の校舎の非構造部材等の耐震化工事、鶴川原小学校のプール改修工事、再生可能エネルギー等導入事業として、菰野小学校及び菰野・八風中学校への太陽光発電設備及び蓄電池設備の設置工事、朝上・鶴川原小学校への蓄電池設備の設置工事に取り組み、安全・安心で快適な学校環境を整えたことは評価できます。今後におきましても、小・中学校の校舎の非構造部材等改修事業、及び中学校の普通教室等の空調設備の設置に取り組むとのことですが、児童生徒の安全・安心で快適な学校環境を整えるため、推進計画に基づいて着実に進めていってください。

3 社会教育事務事業

- ・ 社会体育につきましては、全国から参加者が集う「鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン」や「菰野ヒルクライム・チャレンジ・イン鈴鹿スカイライン」の大規模な住民参加型スポーツ交流イベントにつきましては、参加人数も多く人員管理等大変な部分も多いと思いますが、菰野町の情報を町外や県外へ発信する絶好の機会でもありますので、今後も継続して実施できるように努めてください。

- ・ 文化事業のうち「よもやま歴史教室」につきましては、参加者が100人を超える事業が5つほど見受けられますが、テーマが歴史や俳句、背景も古代から近代等一貫性がないと継続して参加しにくい環境にあると思います。もっとテーマを絞っていくと、1年を通して参加しやすくなるのではないですか。
- ・ 「スポーツ・文化振興会」の設立により、芸術文化活動やスポーツ活動の振興、事業の企画運営、それぞれの団体間の交流によるネットワークの構築等を着実に進めていただいています。今後も新たな事業展開に取り組み、スポーツ・文化の振興とともに、地域の活性化にも寄与することを期待します。
- ・ 文化財保護事業として実施している「田光のシデコブシ及び湿地植物群落」の保存管理につきましては、保存管理計画に基づき、用地買収や計画的な適正管理に努めてください。
- ・ 郷土資料として保存されている貴重な古文書や民具等の保存及び活用方法、文化財の保護及び活用の方針を示すとともに、専任の学芸員の確保について、強く要望いたします。
- ・ 郷土資料館の閉鎖に伴う郷土資料や佐々木先生の資料を保管していく必要性に鑑み、これらを保管し、活用できる場所づくりの検討を継続的に行ってください。

4 図書館事業

- ・ 貸し出した資料の延滞については、少しでも改善できるように今後も努力してください。
- ・ 学校図書館で活動している図書ボランティアの皆さんの集える場（任意組織の名称：こもりブサポーター）の持つ意義は大きいと考えるので、今後も継続してください。
- ・ 菰野町図書館が開館して10年目に入りましたが、立地条件としては菰野町の南部に位置していることから、北部方面である朝上地区や竹永地区の住民も同様に図書館サービスを楽しむように分館もしくは支館の設置等何らかの施策を考えてはどうですか。
- ・ 現在、四日市市が市立図書館の建て替えを計画しているように聞いていますが、菰野町図書館を利用している四日市市民の割合が40%程度となっています。もっと菰野町民に手厚く図書館サービスを提供するために、四日市市に対して中央図書館だけでなく、西部にも分館の設置等何らかの対応を取るよう提言していただきたい。
- ・ 祝日にあたる月曜日やゴールデンウィーク中及び8月最後の月曜日を代替え休館なしに開館する取り組みや、現在は金曜日ですが開館時間を1時間延長し、利用者に対して図書館サービスを提供する取り組みは、評価できるものと考えています。今後も利用者のための図書館サービスについて検討し、取り組むことを要望いたします。
- ・ 図書館司書有資格者を優先して採用し、利用者の意向に応えるように配置していることは評価できますが、臨時職員の配置が多く不安定な状況にあることから、できる限り正規職員や嘱託職員での専門職の配置を引き続き検討願いたい。
- ・ 学校図書館には、専任の司書教諭が配置されておらず、図書の管理及び図書館運営に苦慮している現状があります。そうした中、以前から実施しています司書資格を有する図書館職員による学校図書館への派遣事業について、体制の強化を図り、訪問回数を月1回から2回に増やしたことや、中学校2校を含む全7校への支援を実施したことは、評価いたします。今後においても学校への支援体制を継続し、学校図書館の環境整備に尽力いただくように強く要望いたします。